

特集 減速機の最新技術と活用動向

減速機は、機械や装置など駆動するものの基礎をつくる機械要素の1つ。駆動モータとアクチュエータとの間に介在する中間装置で、回転運動を減速させることで、トルク増大による動力増加や、微細送りによる駆動制御といった役割を担います。減速機の機構には、使用される機構要素の種類によりいくつか種類があります。歯車減速機は、遊星歯車機構や波動歯車機構といったように、用途や製品によって仕様が細かく分かります。産ロボ用途では精度や耐用年数、騒音、省エネルギー化などから求められる性能が年々高まっており、技術的にも高難易度化が進むほか、近年のEV化需要から、小型タイプの開発や市場拡大も進んでいます。

本特集では導入の際の選定ポイントや活用法、最新動向を解説し、ユーザー事例なども複数紹介します。

【予定目次】

総論

「減速機の基礎と導入時のポイント」

テクファ・ジャパン 香取 英男

解説

「減速機構の開発と評価」

木本技術士事務所 木本 晋作

製品事例（活用法）

- 波動歯車減速機
- モーター一体型精密減速機
- 偏心揺動型高剛性減速機
- ボール減速機
- ウォーム減速機

ハイウィン
日本電産シンポ
ニッセイ
加茂精工
マキシコ

ユーザー事例

- 半導体関連製造機械における活用

芝浦メカトロニクス

広告締切日

- 広告お申し込み締切日……………10/12(火)
- データ入稿締切日……………10/15(金)
- 発売日……………11/10(水)

◆ 機械設計・本文特集予定

- 1月号 【特大号】第1特集 VRを用いた設計手法/第2特集 マイコン制御
- 2月号 真空技術の基礎とシステム設計のポイント
- 3月号 ①アクチュエーション技術の研究開発動向
②電動アクチュエータの選定・活用法

機械設計

掲載料金表

- 発行部数：36,500部
- 体裁：B5判・左開き・無線平とじ

記事中(1色)	ヨコ1/3	70,400 (64,000)
挿込(前付)	2	290,400 (264,000)
	4	464,200 (422,000)
挿込(後付)	2	224,400 (204,000)
	4	358,600 (326,000)

[特定頁]					[前付]							[後付]	
場	所	スペース	カラー	3色	2色	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)	1色 (K)	1色 (K)	1色 (K)
表紙	1	1	858,000 (780,000)	—	—	第1頁	601,700 (547,000)	—	—	—	—	151,800 (138,000)	
表紙	4	1	696,300 (633,000)	—	—	最終頁	—	—	—	184,800 (168,000)	118,800 (108,000)		
表紙	2	1	633,600 (576,000)	—	—	普通頁	1/2	—	—	112,200 (102,000)	79,200 (72,000)	64,900 (59,000)	
表紙	3	1	475,200 (432,000)	—	—		1	537,900 (489,000)	273,900 (249,000)	206,800 (188,000)	188,100 (171,000)	132,000 (120,000)	108,900 (99,000)
本文目次(奇)	1	1	601,700 (547,000)	—	—		2	969,100 (881,000)	493,900 (449,000)	371,800 (338,000)	338,800 (308,000)	237,600 (216,000)	196,900 (179,000)
(偶)	1	1	554,400 (504,000)	—	—		3	1,413,500 (1,285,000)	720,500 (655,000)	544,500 (495,000)	495,000 (450,000)	346,500 (315,000)	287,100 (261,000)
(下)	1/4	1	—	—	92,400 (84,000)		4	1,830,400 (1,664,000)	932,800 (848,000)	705,100 (641,000)	641,300 (583,000)	448,800 (408,000)	371,800 (338,000)
広告目次(奇)	1	1	—	—	—								
広告目次(偶)	1	1	458,700 (417,000)	305,800 (278,000)	248,600 (226,000)								

※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。

◆ B5判広告スペースサイズ

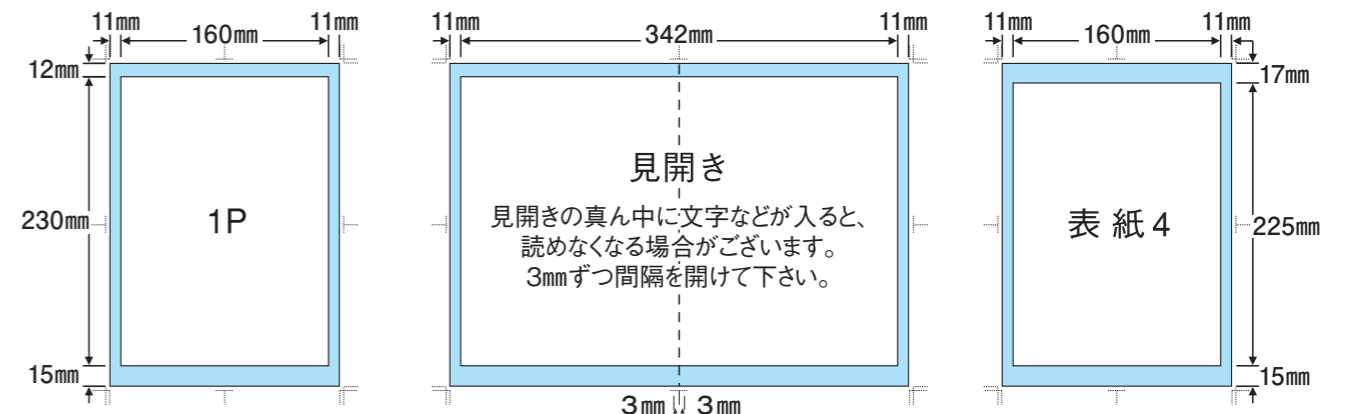
▼原稿サイズ

(仕上がり寸法257×182mm)

●広告データのヘッダー部分に「雑誌名」「発行号」を記入。

スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)	
A	表紙	4	225×160	不可
B	1ページ	230×160	257×182	
C	見開き	230×342	257×364	
D	ヨコ1/2ページ	105×150	不可	
E	タテ1/3ページ	225×45	不可	
F	記事中ヨコ1/3ページ	65×150	不可	
G	目次下1/4ページ	55×150	不可	

※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「センタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱいには配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書

日刊工業新聞社

広告主名	
担当者	☎ ()

データ制作者 記入欄

会社名	☎ ()
担当者	E-mail アドレス @

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	メディア返却の有無 <input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要
--------	---	---

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/> _____	● ご記入下さい Windows _____
--------	---	---------------------------

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本 (実寸1枚) <input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 (PDF可) <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
------------------------	---	---

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください	

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G
-------	---

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー
----	---

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい <input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ ※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____
----------	--

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 埋め込み <input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)
--------	--

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考:	
-----	--

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。

※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。
イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。

※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。

※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。
紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。
また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間: 14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ): モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付 [佐川急便] ⇒ 出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前は入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。
また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405